

# ME 育成 講座

## 平成30年度第2回「ふくしまME（基礎）コース」

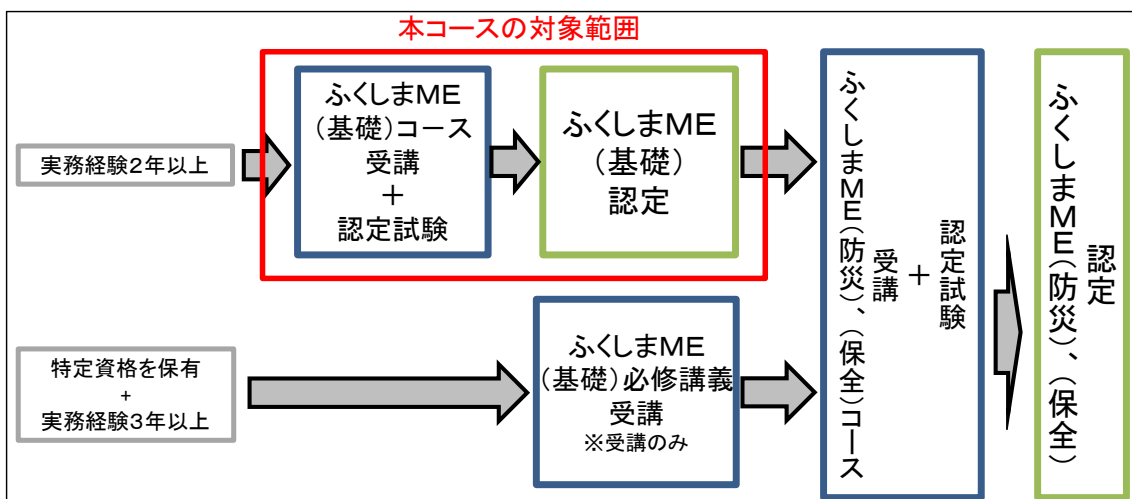
### 募集要項

#### ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

- ・申請書受付期間：平成30年6月4日（月）～平成30年6月20日（水）
- ・受講者選抜結果通知発送：平成30年7月11日（水）
- ・受講料払込期間：平成30年7月12日（木）～平成30年7月20日（金）  
（期日厳守）
- ・実施場所：日本大学工学部62号館6232教室 外（郡山市田村町）  
なお、現場実習は、福島県郡山市内において実施予定。
- ・育成講座：1週目 平成30年 8月17日（金）  
2週目 平成30年 8月24日（金）  
3週目 平成30年 8月31日（金）  
4週目 平成30年 9月 7日（金）  
5週目 平成30年 9月15日（土）
- ・認定試験：平成30年 9月22日（土）
- ・認定試験合格者決定：平成30年10月中旬

○本コースを受講し、「ふくしまME（基礎）」の認定を受け、かつ3年以上の実務経験を有することで、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を受講する資格を得ることができます。

ただし、受講を保証するものではありません。



※特定資格を保有し、かつ3年以上の実務経験を有する者は、別に募集する「ふくしまME（基礎）必修講義」を受講することにより、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を受講する資格を得ることができます（詳細はP7参照）。

## ME 育成講座の目的と意義

社会インフラは、豊かな国民生活の実現及び自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与する国民共通の貴重な財産であります。

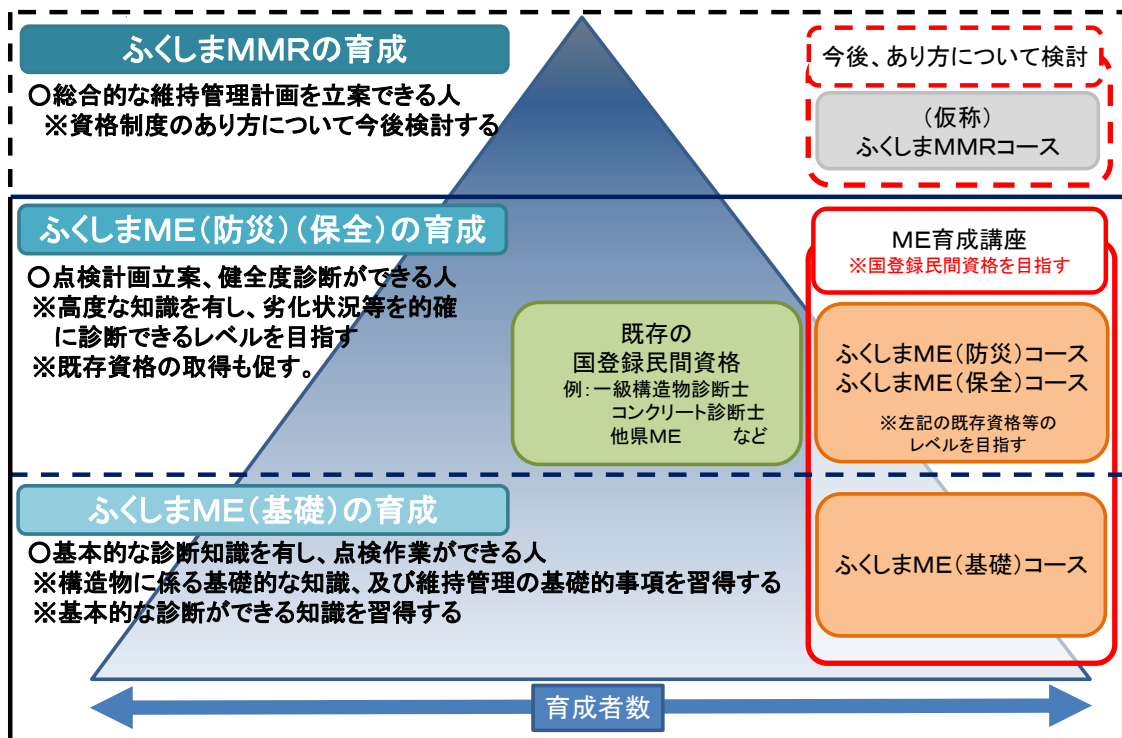
これら社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後急速に老朽化が進むことから、その維持・修繕、更新の必要性、緊急性が全国的に課題となっております。

他方、本格的な社会インフラの維持管理・更新時代を迎える中、維持・修繕分野においては、行政を始め、地域の建設業やコンサルタントに携わるメンテナンス技術者の人材不足が深刻な問題となっております。

このような中、平成 29 年 1 月 12 日「福島県建設業審議会」の答申において、「インフラメンテナンス技術者育成・確保に関する産学官による連携強化」について明記され、インフラメンテナンス技術者育成に積極的に取り組む必要があることが報告されました。

このため、本協議会では、「地域のインフラは、地域自らが守る」考えの下、福島県の地域特性を把握するとともに、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物、防災施設等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、図-1 に示すように、育成目標レベルに合わせて「ふくしまME（基礎）コース」、「ふくしまME（防災）コース、ふくしまME（保全）コース」、「(仮称) ふくしまMMR コース」を実施します。

基礎から応用にわたり多くの技術者の育成に取り組むことにより、社会インフラの品質確保に努め、県民の安全・安心に貢献していくこととしております。



※1 ME:「メンテナンス・エキスパート」構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。  
 ※2 MMR:「メンテナンス・マネージャー」構造物等の維持・修繕に関する日常的管理や、保全計画の策定等ができる技術者を意味する。

図-1 各コースと育成目標レベル

## ME 育成講座 「ふくしまME（基礎）コース」の概要及び実施スケジュール

本コースは、公共土木施設に関して基本的な診断知識を有し、点検作業ができる技術者「ふくしまME（基礎）」の育成を図るものです。

内容は、週1回×5日間（講義＋実習）と半日間（認定試験）の5.5日間で構成され、講義から認定試験までを一貫して行います。なお、講義及び実習のみ受講することは原則として認めません。

平成30年度第2回の実施スケジュール及び講師等は下記のとおりです。

	研修会場	講義時間	講 義 内 容		講 師	
<b>1 週目</b> 8月17日(金)	6 2 号館 6232教室	9:55～10:10	共－1	ME研修の意義、実施要領説明	福島県、事務局	
		10:10～11:30	共－2	福島県の社会基盤施設の維持管理概要	福島県	
		12:30～14:00	共－3	福島県の地形・地質	(一社)福島県地質調査業協会 熊谷広幸	
		14:10～15:40	保構－1	舗装維持管理の基礎	インフラ長寿命化研究会 村岡克明	
		15:50～17:20	保構－2	トンネル維持管理の基礎	(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部 尾崎裕司	
<b>2 週目</b> 8月24日(金)	6 2 号館 6232教室	9:00～10:30	保橋－1	構造力学/鋼橋の基礎	日本大学工学部 笠野英行専任講師	
		10:40～12:10	保橋－2	コンクリート橋の基礎	日本大学工学部 子田康弘准教授	
		13:10～14:10	防－3	盛土・基礎地盤の崩壊・変形の概論	日本大学工学部 仙頭紀明准教授	
		14:20～16:40	保橋－4	部材劣化の基礎	日本構造物診断技術協会 新銀武	
<b>3 週目</b> 8月31日(金)	6 2 号館 6232教室	9:50～10:50	防－1	斜面崩壊・落石の概論	日本大学工学部 中村晋教授	
		11:00～12:30	防－2	点検と防護の基礎	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部 小沼千香四	
		13:20～14:50	防－4	盛土・基礎地盤の点検基礎と対策	(公社)日本技術士会東北本部福島県支部 黒森伸夫	
		15:00～16:30	保橋－3	橋梁メンテナンスの概論と福島県橋梁管理の基礎	日本大学工学部 岩城一郎教授	
<b>4 週目</b> 9月 7日(金)	6 2 号館 6232教室	9:00～10:30	保橋－5	コンクリート橋の損傷	インフラ長寿命化研究会 神永秀明	
		10:40～12:10	保橋－6	鋼橋の損傷	インフラ長寿命化研究会 小室浩	
		13:00～16:00	保橋－7	点検・診断の基礎	インフラ長寿命化研究会 高橋明彦	
<b>5 週目</b> 9月15日(土)	6 2 号館 6232教室	9:00～12:00	A 班	保橋－8	補修事例橋梁の実習	※調整中
		13:00～15:00		保橋－9	意見交換会	
		12:00～15:00	B 班	保橋－8	補修事例橋梁の実習	
		15:15～17:15		保橋－9	意見交換会	
<b>6 週目</b> 9月22日(土)	6 2 号館 6232教室	10:00～12:30	認定試験	—	—	

**ME 育成講座 平成30年度 第2回**  
**「ふくしまME（基礎）コース」 募集内容**

**1. 募集人員**

100名程度

**2. 受講費用等**

受講料（受験料含む） 100,000円

（ただし、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会に参画する団体又は行政機関に属する者は、50,000円とする。）

なお、受講者決定通知後に参加をキャンセルした場合、育成講座の途中で欠席となった場合でも受講料は返還いたしません。

**3. 受講資格**

受講申請者は、下記のいずれかに該当する必要があります。

(1) 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会インフラの維持管理又は整備に関し2年以上の実務経験を有する者。

(2) 民間建設関連業土木技術者

① コンサル担当業務

社会インフラの調査、測量又は設計に関し2年以上の実務経験を有する者。

② 施工業務

社会インフラの施工又は管理に関し2年以上の実務経験を有する者。

③ その他

上記①、又は②と同等と認められる者。

(3) 現在の所属機関のみでは(1)又は(2)の要件を満たしていない土木技術者等  
複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の  
経験年数を2年以上有する者。

**4. 受講申請手続き**

(1) 申請期間

平成30年6月4日（月） ～ 平成30年6月20日（水）（消印有効）

(2) 提出方法

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局まで、必ず「簡易書留」にて、上記の申請期間内に送付すること（6月21日（木）以降の持ち込み及び消印は受理しません）。なお、封筒の表面の左下隅に「ふくしまME（基礎）コース申請書類在中」と朱書きすること。

### (3) 提出書類

#### ① 受講申込書

官公庁土木技術者等、民間建設関連業土木技術者とも、(様式1)に記入。

#### ② 証明写真2枚

申請3ヵ月以内に撮影した顔写真、無帽、正面向きの縦4.5cm、横3.5cmのもの。2枚とも写真裏面に氏名を記入し、うち1枚は上記①の申請書(様式1)に貼付し、もう1枚は糊付けせず申請書にクリップで留めてそのまま提出(2枚ともポラロイド、カラーコピー不可)。

#### ③ 実務経歴書

##### ア 官公庁土木技術者等

受講資格を確認するため、(様式2)に記入。

なお、自分より上位の管理職の職名・氏名を記入し、押印したものを提出すること。

##### イ 民間建設関連業土木技術者

受講資格を確認するため、(様式3)に記入。

なお、現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印したものを提出すること。

また、受講資格を満たすため現在の所属企業以外での実務経歴も必要な場合には、旧所属企業分についても(様式3)により旧所属の会社名、代表者名を記入し、旧所属の代表者印を押印したものを併せて提出すること。

(注)個人及び事業主の方が、自分で自分の経歴を証明することは出来ません。

第三者(組合や元請け又は同業者等)から、証明を頂いてください。

### (4) 郵送提出先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号(福島県建設センター6階)

(一社)福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

## 5. 受講者の選抜

### (1) 選抜方法

受講申請書類に基づき厳正に審査し、受講者を選抜します。

なお、応募者多数の場合は、応募者の所属先、地域性を考慮して、受講者を選抜します。

### (2) 選抜結果の通知

平成30年7月11日付けで、選抜結果の通知書を本人宛に郵送します。

なお、この日より1週間を経過しても選抜結果通知書が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

(注) 選抜結果通知の際、受講料納付方法についてお知らせしますが、指定した期日までに受講料の入金がない場合には、受講できませんのでご注意ください。

## 6. 個人情報の取扱い

提出された申込書等に記載された氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局が責任をもって管理します。

## 7. 受講修了、認定等について

### (1) 受講修了証の交付

本コースの全課程を受講した者に対し、受講修了証を交付します。

なお、レポート課題等の未提出が一部でもあった場合や、遅刻、欠席が一部でもあった場合には、原則として受講修了証は交付しません。

ただし、不可避の理由<sup>(※1)</sup>による遅刻、欠席<sup>(※2)</sup>の場合のみ、次回のME育成講座平成31年度第1回「ふくしまME（基礎）コース」（以下、「次回基礎コース」という。）において、受講できなかった講義を一度のみ受講料免除の上受講でき、受講することで本コースの全課程を受講したものとして受講修了証を交付します。

※1 不可避の理由：3親等以内の忌引き、不慮の事故などを指します。

※2 欠席が2日を超える場合を除きます。

### (2) 認定試験

本コースの受講修了証の交付を受けた者のみ、認定試験を受けることができます。

なお、今回の認定試験において下記①～③に該当する者は、次回基礎コースの認定試験を一度のみ受験することができます。さらに、下記①及び②に該当する者については、次回基礎コースの受講を免除します。

- ① 認定試験において不合格となった者（受験料5,000円）
- ② 受講修了証の交付を受けたが受験できなかった者（受験料 無料）
- ③ 不可避の理由により遅刻、欠席した者で、次回基礎コースを受講し受講修了証の交付を受けた者（受験料 無料）

### (3) 認定証の交付

認定試験後、審査委員会、協議会の審議を経て、試験に合格した者には「ふくしまME（基礎）」の認定証を交付します。

なお、認定証の有効期間は、5年間（更新制）とします。

### (4) 合格者の発表

合格者の受講番号を、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会HP上に掲載するとともに、「ふくしまME（基礎）」の認定証を本人宛に郵送します。

## 8. CPDプログラムについて

本コースはCPD（公益社団法人土木学会）、CPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会）プログラムの認定対象予定講習です。

## 9. その他

- (1) 次回基礎コースは、平成31年度上半期に開催する予定です。
- (2) 本年度から、高度な知識を有し、公共土木施設の点検・計画・立案、及び健全度診断が的確にできる技術者の育成を図るための「ふくしまME（防災）コース<sup>(※3)</sup>」及び「ふくしまME（保全）コース<sup>(※4)</sup>」を新たに開設する予定であり、受講要件については下記①または②のいずれかを満たす者となります。

- ① 「ふくしまME（基礎）」の認定を受け、かつ3年以上の実務経験<sup>(※5)</sup>を有していること。
- ② 「別表1 ふくしまME（基礎）コースの一部科目を免除する特定資格」（P8）に掲げる資格を保有し、かつ3年以上の実務経験<sup>(※5)</sup>を有しており、さらに、別に募集する「ふくしまME（基礎）必修講義」<sup>(※6)</sup>の受講修了証の交付を受けていること。

※3 福島県内の地質・地盤、および降雨や地震などの自然環境下で、道路構造物のうち斜面崩壊や落石、雪崩、また盛土の変状による道路への影響を防止、または抑止するための施設（各種シェッドを含む）や盛土下の構造物（カルバートも含む）、地盤変状や塩害などの影響を受けるトンネル構造物を対象とし、それらの健全度の診断と対策に関する技術を習得することを目的とする。

※4 福島県内の気象・地象条件に起因する環境作用を想定し、主に道路構造物のうち橋梁を対象として、凍結防止剤や海水による鋼材腐食、アルカリシリカ反応、寒冷地における凍害、交通作用の繰返しによる疲労といった劣化に対するコンクリートおよび鋼構造物、さらには舗装の診断（点検、劣化機構の推定・予測、評価・判定）と対策（補修・補強、更新）に関する技術を習得することを目的とする。

※5 必要な実務経験は、下記のとおりです。

- ① 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務を3年以上経験している者。

- ② 民間建設関連業土木技術者

社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務を主体的な立場で3年以上経験している者。

※主体的な立場とは、委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などを指す。

- ③ 現在の所属機関のみでは上記①及び②の要件を満たしていない土木技術者等

複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験年数を3年以上有する者。

※6 平成30年度第2回「ふくしまME（基礎）必修講義」の受講を希望する場合は、別途当該募集要項により申込みを行ってください。（P1の対象範囲図参照）

## 10. 問合せ先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

（一社）福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

TEL：024-563-1321 又は 024-523-1728

URL：<http://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

別表1 ふくしまME(基礎)コースの一部科目を免除する特定資格

	部門、資格名称	実施主体
技術士	建設(全ての専門科目) 応用理学(地質)	文部科学省
国土交通省登録民間資格 ※維持管理分野の診断に登録があるもの	海洋・港湾構造物維持管理士	一般財団法人 沿岸技術研究センター
	都市道路構造物点検技術者	一般財団法人 首都高速道路技術センター
	点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	主任点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	地すべり防止工事士	一般社団法人 斜面防災対策技術協会
	土木鋼構造診断士	一般社団法人 日本鋼構造協会
	一級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会
	河川技術者資格(河川維持管理技術者)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	河川技術者資格(河川点検士)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	構造物保全上級技術者	一般社団法人 国際建築物保全技術協会
	舗装診断士	一般社団法人 日本道路建設業協会
	コンクリート構造診断士	公益財団法人 プレストレストコンクリート工学会
	砂防・急傾斜管理技術者	公益社団法人 砂防学会
	コンクリート診断士	公益社団法人 日本コンクリート工学会
	高速道路点検診断士(土木)	公益財団法人 高速道路調査会
	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 愛媛大学
	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 岐阜大学
	道守コース	国立大学法人 長崎大学
	特定道守コース	国立大学法人 長崎大学
	橋梁診断士	国立大学法人 名古屋大学
社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人 山口大学	
RCCM ※技術士の建設部門に含まれる科目及び応用理学部門(地質)に該当する部門	河川、砂防及び海岸・海洋	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
	港湾及び空港	
	電力土木	
	道路	
	鉄道	
	都市計画及び地方計画	
	地質	
	土質及び基礎	
	鋼構造及びコンクリート	
	トンネル	
	施工計画、施工設備及び積算	
	建設環境	
	土木学会認定土木技術者	
上級土木技術者		
1級土木技術者		

(注)一級土木施工管理技士は、特定資格に該当しませんので注意してください。



(様式1)

ME育成講座 平成30年度第2回「ふくしまME(基礎)コース」受講申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

写真を貼る  
H: 4.5cm  
W: 3.5cm  
※顔写真  
※裏面に氏名を記入し、  
全面糊付けのこと

フリガナ 氏名		
	印	
生年月日	昭和・平成 年 月 日(満 歳)	
現住所	〒 -	
電話番号	TEL:	携帯:
勤務先		
勤務先住所	〒 -	
	TEL:	FAX:
連絡先 E-Mail		
勤務先の所属団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨県・市町村 ⑩( ) ※該当する番号に○を一か所のみ付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。	
最終学歴	年 月	学校・学部・学科
	S・H 年 月	
土木に関する職歴 [ 延べ経験年数 ] 年 ヲ月	年 月	所 属
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
土木に関する公的資格	年 月	名称(登録番号等)
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	

(様式2)

ME育成講座 平成30年度 第2回「ふくしまME(基礎)コース」

－ 実務経歴書 －

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書（官公庁土木技術者等の経歴証明用） ◆

所属	職名（担当）	関係実務	勤務期間	
			～	年 月
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			※計	年 月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

役職名

氏名



※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式3)

ME育成講座 平成30年度 第2回「ふくしまME(基礎)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書（民間建設関連業土木技術者の経験証明用） ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
				～	年 月
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				※計	年 月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

会社名

代表者名



※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式1)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成30年度第2回「ふくしまME(基礎)コース」受講申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

フリガナ	フクシマ タロウ		※姓と名の間は 一字空けること	写真を貼る H : 4.5cm W : 3.5cm ※顔写真 ※裏面に氏名を記入し、 全面糊付けのこと
氏名	福島 太郎	(印)		
生年月日	昭和・平成 ○○年 ◆◆月 △△日 (満●●歳)			
現住所	〒000-0000 ○○市 △町 字 ○○○番地			
電話番号	TEL:000-0000-0000 携帯:090-0000-0000			
勤務先	(株)○○○○建設 △部 / 福島県○○建設事務所 △部 等 ※所属部名まで記入のこと。			
勤務先住所	〒000-0000 ○○市 ◆町 字 ●●●●番地 TEL:000-111-2222 FAX:000-333-4444			
連絡先 E-Mail	※メールアドレスを記入のこと			
勤務先の所属団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨県・市町村 ⑩( ) ※該当する番号に○を一家所のみ付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。			
最終学歴	年月	学校・学部・学科		
	S(H)●●年 ●●月	○○大学 ◆◆学部 △△科		
土木に関する職歴	年月	所属		※主なものを記入 記入欄が不足する場合は、 行を追加して記入のこと。
	S(H)●●年 ●●月	(株)○○○○建設 採用		
	S(H)●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課		
	S(H)●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 主任		
	S(H)●●年 ●●月	(株)○○○○建設 ○○課 課長 ← ※現在の所属		
土木に関する公的資格	年月	名称(登録番号等)		※主なものを記入 記入欄が不足する場合は、 行を追加して記入のこと。
	S(H)●●年 ●●月	二級土木施工管理技士(登録番号 No.00000)		
	S(H)●●年 ●●月	測量士補(登録番号 No.00000)		
	S(H) 年 月			
	S(H) 年 月			
	S(H) 年 月			
	S(H) 年 月			

(様式2)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成30年度 第2回「ふくしまME(基礎)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (官公庁土木技術者等の経験証明用) ◆

所属	職名 (担当)	関係実務	勤務期間	
〇〇建設事務所〇〇部〇〇課	技師 (設計・管理担当)	道路・河川管理	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
土木部〇△課	副主査 (管理担当)	河川管理	H〇.〇~H〇.〇	1年
土木部◆◆課	主査 (管理担当)	道路管理	H〇.〇~H〇.〇	1年
<p>※ 重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。          現職場のみでは実務経歴が2年以上とまらない場合には、          従前の実務経歴を加えて記載すること。</p>				
<p>※自分より上位の管理職の役職名・氏名を記入し、押印する。</p>			※計 3年 6ヵ月	

平成 00年 00月 00日

役職名 ○ △ 課 長

氏 名 ○ ○ ○ ○ 印

(様式3)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 平成30年度 第2回「ふくしまME(基礎)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (民間建設関連業土木技術者の経験証明用) ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
平成〇年度 ○道路△法面施工業務	(株)〇〇建設	施工管理	〇建設事務所	H〇.〇~H〇.〇	8ヵ月
平成◆年度 ○橋桁補修業務	(株)〇〇建設	維持施工管理	△建設事務所	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
平成△年度 ○道路◆舗装業務	(株)〇〇建設	施工管理	◆市役所	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
<p>※ 現所属企業における重複期間を除いた合計2年以上の実務経歴を記入すること。</p> <p>なお、受講資格を満たすため旧所属企業分の実務経歴書も併せて提出する必要がある場合は、この(様式3)を用いて旧所属企業における実務経歴書を作成し、<u>旧所属企業の会社名、代表者名を記入し、旧所属企業の代表者印が押印された実務経歴書を提出すること。</u></p>					
<p>※ 現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印する。</p>				※計 3年 8ヵ月	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 00年 00月 00日

会社名 (株)〇〇建設

代表者名 ○ ○ ○ ○ 印

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含まませんのでご注意ください。